

第44回全国障害者技能競技大会

< 1 0 1 > 洋裁 事前公表課題

1 課 題

支給された材料を用いて下記に従い、図のような裏無しのオーバーブラウスを製作しなさい。

2 競技時間 6時間

3 禁止事項

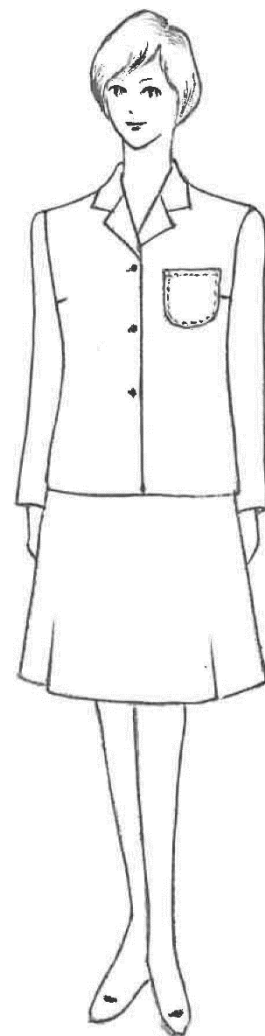
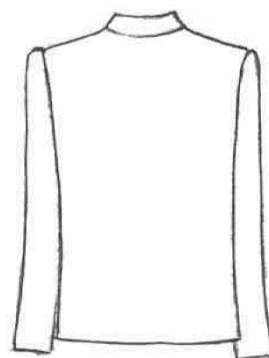
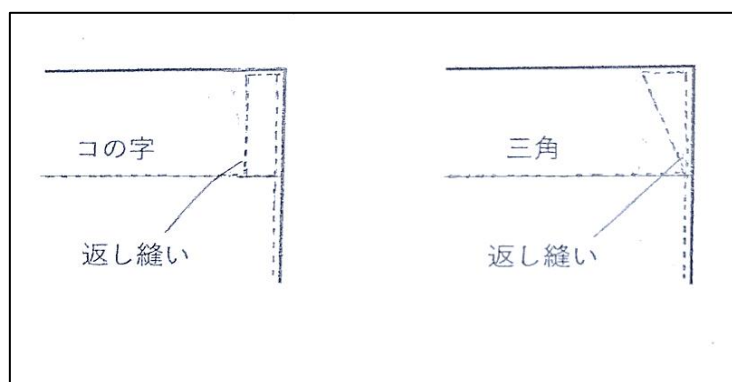
- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (4) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (5) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (6) 工具等一覧表に示すもの以外の工具及び機械を使用してはならない。
- (7) 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- (8) メモしたものや参考書等を競技中に参照してはならない。
- (9) 競技中に、スマートフォン等の通信機器（電卓機能の使用を含む）を使用してはならない。
- (10) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

4 注意事項

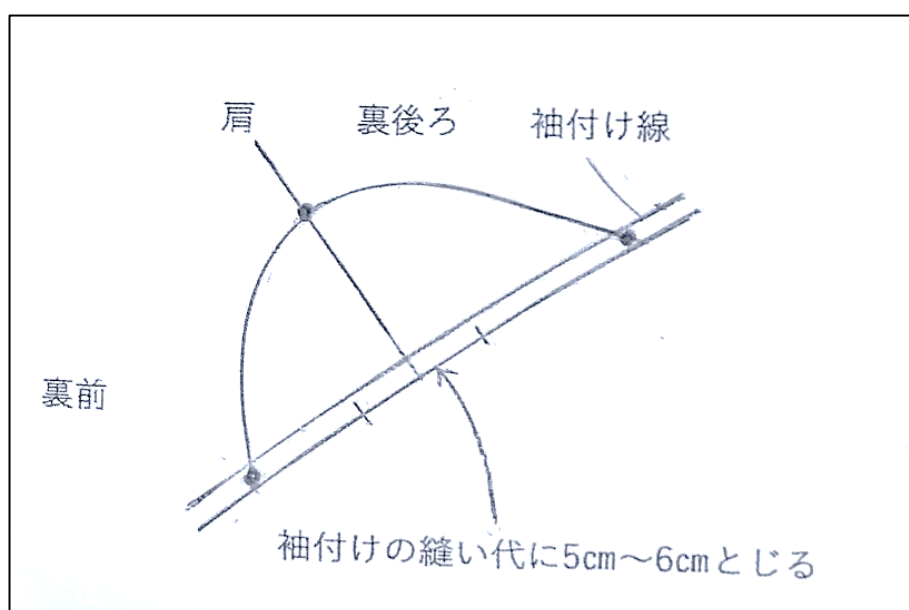
- (1) 競技前に、スマートフォン等の通信機器の電源を切り、かばんの中等にしまうこと。
- (2) 型紙は選手下見（オリエンテーション）の日に支給する。
- (3) 支給された材料の品名及び数量等が「支給材料」のとおりであることを確認し、支給された材料に異常等がある場合は、競技開始前に競技委員に申し出ること。
- (4) ミシンの調整は、各自で行う。
- (5) 下記5で指定されたこと以外は、各自の判断で仕様を決めてよいこと。
- (6) 競技が終了したら競技委員に申し出る。
- (7) 作品の出来栄で評価を行うが、同得点の場合は、仕上がりが早い方が順位が上になること。

5 仕 様

- (1) オーバーブラウスは、テーラーカラー・長袖・パッチポケット付きとする。
- (2) 肩、脇、袖下、袖付け、へム、見返し端はロック始末とする。
肩、脇、袖下は割ってロック、へム、見返し端もロックをかける。
袖山のいせを整えて袖付け後、2枚一緒にロックをかける。(1 cm)
- (3) 衿付けは、前身頃、見返し共、縫い代は割る。
後ろ衿ぐりは片返し、手まつりとする。
- (4) ポケットは右記スタイル画の位置にコバミシン付けとする。
- (5) ポケット口のミシン縫いは、下図のどちらでもよいこととする。



- (6) ボタンホールは3か所とも横方向に手がかりをする。(ボタン2 cm、2つ穴)
- (7) 表衿と見返しは、配付する型紙(ゆとり入り)を使用してもよい。
- (8) 肩パットの付け方は、下図の・の位置を1 cmの糸ループで止めること。



6 支給材料

- (1) 型 紙 : 1 式
- (2) 表 地 : 薄手ウール 1.5m (粗裁ちしたもの、各パーツ分)
- (3) 芯 地 : 接 着 芯 0.8m (粗裁ちしたもの、各パーツ分)
- (4) 接着テープ: た て 地 1.5m
- (5) 糸 : ミシン糸 (200m 巻) 1 個・手縫い糸 1 個
穴 糸 1 個・ロック糸 3 個
- (6) ボタン : 2.0cm 3 個
- (7) 肩パット : 1 組

競技会場に準備してあるもの

品 名		規 格	数 量	備 考
設 備 類	作業台		1 台	表面にクラフト紙張り
	丸椅子		2 脚	作業台及びミシン用に各 1 脚
	本縫いミシン		1 台	
	電気スタンド		3 台	作業台、本縫いミシン及びオーバーロックミシンに各 1 台
	オーバーロックミシン		1 台	
	ボビン・ボビンケース		1 組	
	ミシン針	11 号	2 本	本縫いミシン、オーバーロックミシンに各 1 本
	ハンガー		1 本	
用 具	スチームアイロン		1 台	
	仕上げ用具	まんじゅう・小馬 そでまん	1 式	
材 料	型紙		1 式	
	表地	粗裁ちしたもの	1 着分	各パーツ分
	接着芯	粗裁ちしたもの	1 着分	各パーツ分
	接着テープ	たて地	1.5m	
	糸	ミシン糸	1 個	
		手縫い糸	1 個	
		穴 糸	1 個	
		ロック糸	3 個	
	ボタン	2.0cm	3 個	
	肩パット	布でくるんだ物	1 組	

(注) 数量は一人当たり数を示す

競技者が持参するもの

品 名	規 格	数 量	備 品
洋裁用具一式		適宜	ステッチ定規、しつけ糸、霧吹き等
敷 布 (アイロン用)		1 枚	
当て布		1 枚	